

行政事務

生活環境部 生活交通課

平成24年度採用

わたしを表すKEY WORD

#ラグビー

高校から競技を始め、今も社会人のクラブに参加しています。

30代後半となり、学生時代のようにプレーできなくなりましたが、健康維持のため、10代20代の若手とプレーしています。

#晩酌

家に帰り、子どもたちを寝かしつけた後に、妻と会話をかわしながら飲むビールやワインが私の日々の活力の源です。

#一男一女の父

#バイク

#ウォーキング

**[職歴]**

H24～ 福島県立郡山萌世高等学校
H27～ 避難地復興局 生活拠点課

H31～ 保健福祉部 県民健康調査課
R5～ 生活環境部 生活交通課

交通事故のない福島に！

交通事故を防ぐための交通安全の啓発活動等を警察や様々な交通安全関係団体の皆様と連携・協力して行っています。

「交通安全」という言葉は非常に身近な言葉ですが、一人一人の心がけと交通安全ボランティアなどの多くの皆様の地道な努力のおかげで得られるものであると日々感じています。

県職員を目指した理由

私は様々な分野から自分が生きていく社会の仕組みを見てみたいと考え、様々な分野に異動がある行政職を希望していました。

また、私が採用試験を受けた年は震災が発生した年でもあり、生まれ育った福島県の復興に携わる業務をしたいと思ったのが福島県を志望した理由です。



とある一日のスケジュール

8:30	メールチェック
9:00	会議準備
10:30	会議
12:00	昼休み

13:00	打ち合わせ
14:30	会議・打合せの片付け
15:00	会議・打合せについての報告書の作成
16:30	外部からの照会への回答作成
17:15	終業

サポート職員として意識していること

業務に関することを伝える際は、なぜこのようにするのかなどの「理由」を毎回説明するようにしています。

また、現在の業務では、県以外の団体の事務も行っているのですが、もし県だったらこういう手続きが必要だと伝えるようにしています。



※新採用職員サポート制度：新規採用職員1名ひとりに「サポート職員」（職場の先輩職員）を配置し、職場での基本的なルール等の指導・助言を行います。

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

県職員を志望した当時と同じく、今後も、様々な分野の業務を経験したいと考えています。そこでの様々な経験や人との出会いは、自身の多角的な成長につながると思います。そこで得た経験を通して、様々な立場、分野から福島県の復興に微力ながらも貢献したいと考えています。

受験者へメッセージ

行政職は、様々な業務や人との出会いを経験し、自分を成長させることができる業種であると思います。

是非、福島県に入庁し、より良い福島県を目指して一緒に頑張りましょう。